

つながりの中でくらす  
望まれた人として生きる  
自分らしく生きていく



No. 81

2024年9月発行

旭区地域自立支援協議会こども部会では、毎年6月7日に、「就学進学なんでも相談会」を区内10小学校で開催しています。就学に向けて保護者の方々が、学校選択に悩まれる姿に出会います。我が子にとってどのような選択が良いのか、悩む気持ちはよくわかります。「しっかり」と教育をしてほしいと思うことも自然な事と思います。学校や保育所、幼稚園などでは、先生方が子どもにとって一番良い対応を日々悩み考えておられると思います。「どの学校を選択しても大丈夫」と保護者が思えるような地域になればと思いながら相談会を行っています。

当法人では、「相談支援ほうぷ」(児童福祉法に基づく障害児相談支援事業)を運営しています。相談という個人情報にかかわる事業なので、その内容を報告することは難しいのですが、保護者のご相談に対応したり、福祉サービス等をご紹介したり、お子さんのサポートをするために関係機関とのネットワークをつくったりしています。学校や幼稚園、保育所などを訪問する時、「先生が介在していない小さな空間」で、子ども同士の関わりを見ることがあります。それは最も心が温くなる瞬間です。どの子どももクラスの一員として受け入れられる環境が作られていれば、子どもたちは時間と場所を共有することで育ちあっていくと感じます。一人ひとりに役割があり仲良くしたり喧嘩したりしながら、様々な体験を重ねていく中で社会性が育まれていくと思います。それが共に暮らす地域社会につながっていくと思っています。

(地域生活サポートネットほうぷ 向井裕子)

## 2023年度 事業報告

2023年度は、児童福祉法に基づく障害児相談支援事業、障害児通所支援事業(放課後等デイサービス)、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業、及び、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業(介助派遣事業)の福祉サービス事業と、障害児者の自立に向けた支援事業、子育て・子育て支援事業、まちづくりの推進事業、社会教育事業(各種講座・セミナーの開催、人材育成等)、障害者のためのシェアハウスの開設、管理及び運営事業の独自事業を行った。

福祉サービス事業では下期に常勤職員の退職や長期休暇があり職員体制の継続の困難さから、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業、及び、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業(介助派遣事業)を12月末で廃止し、児童福祉法に基づく障害児相談支援事業と児童福祉法に基づく障害児通所支援事業(放課後等デイサービス)の職員体制の変更を行った。利用者の利益を大切にすることを第一に考えて、廃止の事業については他事業所への引継ぎを丁寧に行った。

職員の研修受講をすすめることに加え、定期的に虐待防止委員会を開催して現状報告やヒヤリハット報告を行い、7月には運営委員会を開催して外部委員からのアドバイスをいただき、支援の質の向上に努めた。会報を年4回発行し、HPにも掲載し、事業や活動の報告を行うと同時に、地域社会への啓発を行った。

#### (1) 児童福祉法に基づく障害児相談支援事業

保護者の思いや心配事を聞くことと、保護者や福祉サービス事業者からの聞き取りを行うモニタリング作成を丁寧に行うことで、信頼関係を築くことができてきた。子どもの最善の利益と子どもと家族の生活を大切に、子どもが将来、自立した日常生活や社会生活を営むことができることを目標に相談支援を行った。保護者のニーズを受けとめながら、児童発達支援や放課後等デイサービス、保育所、幼稚園、学校などと連携して支援することで、保護者と子どもの不安感を軽減することができたと考える。不登校児の支援においても、教育機関や公的な子どもの支援機関と連携を図りながら取り組むことができた。

#### (2) 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業(放課後等デイサービス)

上期は、さまざまなイベントや夏休みプログラムの取り組みを行い、子どもの体験を広げ、「遊び」を大切にしながら子どもの主体性を育む活動ができた。下期は、職員体制の変更がある中、毎日のミーティングで個々の支援内容を確認するなどして、日々の活動を丁寧に行うことに努めた。イベントについてもこれまでの積み重ねによりルーティン化できていたため、年間計画を変更することなく実施することができた。支援計画の見直しの際に、子ども本人から話を聞き、保護者との面談を丁寧に継続することで、職員体制の変更で利用者が不安感を抱くことがないよう支援できた。虐待防止委員会において、研修受講やヒヤリハットの報告を行い、委員の方々からアドバイスなどをいただき、支援に活かすことができた。また、大学生ボランティアを受け入れ、子どもたちがお兄さんやお姉さんとかかわる機会を多く作ることもできた。

当法人独自の「ワタシ×ミライ ワークショップ」は、3名の子どもそれぞれの進学後の生活について意見を出し合うことができ、子ども自身も自分が主人公であると感じる時間となった。「こども ILP」は『住』をテーマに行った。日常生活で使う陶器づくりは、うまく作ることが難しかったが、子どもたちは楽しんで取り組んでくれた。

利用者の満足度調査と自己評価の結果をホームページに掲載し、運営や支援内容の検討・改善を行った。保護者交流会を開催し、参加保護者から今後の定期的な開催の希望があった。

職員体制の変更により困難なことが多くあったが、活動を見直す機会となり、次年度に向けて支援内容の向上につながると考えている。

#### (3) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業(居宅介護・重度訪問介護)・ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業(移動支援)

事務所の 2 階のシェアハウスの入居者に対し、入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事、その他の生活全般にわたる援助を行うことで、自立した日常生活又は社会生活を営むことができたと考える。子育て中の保護者の家事援助は、家族と一緒に食事する機会を増やし、保護者の力になることができた。また、新社会人や小中学生が、自立に向けて社会生活体験が広がるよう移動支援を行った。

12月に事業廃止としたが、それぞれの利用者に対して、丁寧に説明を行い他事業者へ引継ぎをして、1月からの生活に支障のないように努めた。

#### (4) 障害児者の自立に向けた支援事業

旭区地域自立支援協議会に継続して参加し、地域の障害者福祉の推進を担う一員として活動することができた。地域自立支援協議会の本会、こども部会、相談部会の定例会に参加して、障害児者の地域生活を支援するための活動に取り組んだ。

本会では防災の取り組みについての意見交換を行い、防災をテーマに開催された「なごんで座談会」に参加した。こども部会では、区内の小中学校で開催された「就学進学なんでも相談会」の運営や相談対応を行い、旭区保健福祉センター、障害者相談支援事業所や学校等と連携して、障害児とその家族の就学や進学への不安を軽減することができた。こども部会定例会では、教育と医療と福祉との連携についての学習会や意見交換に参加し、部会員と関係を築くことができ、今後の支援体制について検討することができた。相談部会では、定例会に参加して他事業所と事例検討や研修などに取り組み、地域連携を行うと同時に、支援の質の向上をはかることができた。事業所連絡会(児童)にも参加し、他事業所との交流を行うことができた。

#### (5) 子育て・子育て支援事業

「旭区子育て安心ネットワーク」の定例会(事務局:旭区役所)や、「あさひの輪」の定例会(事務局:旭区社会福祉協議会)に継続して参加し、区内の子育て関連施設と連携して子育て支援の充実に向けて話し合うことができた。また、「清水地域子育てボランティアグループ」の定例会に参画し、地域に密着した子育て支援に取り組むことができた。

大阪市の「ブックスタート」事業を2か月に1回開催し、法人独自の「おやこ ひろば ほうぶ」を音楽活動として2か月に1回開催して、乳幼児とその保護者が地域とつながる場を提供することができた。地域活動行儀会主催の「清水フェスティバル」において、子ども向けの創作体験コーナーを出店し、子どもたちに対して自然物を使った体験の機会をつくることができた。

#### (6) まちづくりの推進事業

地域活動協議会の会議に参加し、地域福祉部会において「異世代交流事業」の開催に参画し、高齢者と乳幼児の交流の機会をつくることができた。また、「清水フェスティバル」の準備会に参加して、地域住民との連携を深めることができた。

#### (7) 社会教育事業(各種講座・セミナーの開催、人材育成等)

大学や福祉サービス事業所において、当法人の職員がゲストスピーカーとして講演を行った。大学の音楽療育を学ぶ学生や心理学を学ぶゼミ生等の実習の受け入れを行った。また、セミナーを開催し、保護者と支援者が共に学ぶ機会を提供した。

#### (8) 障害者のためのシェアハウスの開設、管理及び運営事業

事務所 2 階のシェアハウスで生活する 3 名の入居者が交流しながら自分らしく生活できるように支援することができた。

# 放課後等デイサービス「楽童ほうぷ」報告

春には、親子交流のバーベキューや、地域交流を兼ねた音楽会を開催しました。また、高校生になったMさんのワタシ×ミライワークショップを開催し、中学校と高校の担当の先生方が参加してくださいました。たくさんの意見がでました。

夏休みは「夏休みプログラム」を作成して、毎日いろいろな活動をしました。数のこ（算数）、ことばの森（国語）、ドラ英もん（英語）の学習的な内容や、サーキット、身体ほぐし、水遊びなどの身体を使った内容、創作活動（工作や、おやつ・昼食作り）や、音楽遊びなど、2学期からの少人数活動につなげることも考えながらプログラムを作り、実践しました。しごと体験やおやつ作りのILP（自立生活プログラム）も行いました。

夏休みの初めにはカフェほうぷ、終わりにはサマーフェスティバルを開催して、地域の方々との交流をはかりました。暑い暑い夏でしたが、いろんなつながりの中で、様々な取り組みができました。

## BBQ大会

5月11日（土）12:00～15:00

参加者：保護者11名 こども16名 スタッフ12名

各ご家庭とほうぷのスタッフの交流をしたいと思いますと思い開催しました。近くの鶴見緑地公園のBBQ場のシステムが変わっており、大人数での予約ができなかったため、迷った末にほうぷの前で行いました。予想以上にたくさんのご参加があり、食事をするために準備した室内のテーブルはいっぱいになりました。暑い日にもかかわらず、お父さんお母さん方が炎天下で焼く係をしてくださいました。ほうぷの法人スタッフが朝から作ったおにぎりも好評でした。楽しい交流会ができました。ただ、焼き肉の煙がご近所に広がってご迷惑をかけてしまいました。ご近所の方々、本当に申し訳ございませんでした。



## Bouno2633の音楽会

6月29日（土）14:00～15:00

参加者：こども7名 地域の方々22名 ボランティア4名

地域の方々にもチラシを配布して、Bouno2633さんによる音楽会を開催しました。地域のご婦人がたくさん来てくださり、会場はいっぱいになりました。音楽で心が温かくなりました。





## カフェほうぶ

7月20日（土）14：00～15：30 参加者：こども 13名 学生ボランティア 4名  
子どもたちのしごと体験の一環として、1日限定で「カフェほうぶ」を開きました。お客様として、地域の皆さまもたくさん来店してくださり、子どもたちは注文を受けたり、飲み物を渡したり大忙し。千林・今市にある「あゆみ工房」さんのクッキーやドーナツも販売しました。手作り雑貨の販売や読み聞かせも行いました。



## うどん作り

8月2日（金）10：00～12：00 参加者：こども 13名

うどん作りの専門家を招いて、粉からうどんを作りました。この日のお昼ご飯は、もちろん手打ちうどん。粉だらけになったり、のばすのに四苦八苦したり、太く切ってしまったり、いろいろありましたが、自分たちで作ったうどんはおいしい！に決まっています。



## サマーフェスティバル

8月24日（土）14：00～15：00

参加者：こども 9名 地域の親子連れ約 13組 学生ボランティア 3名

夏休みの終わりにお祭りをしました。スーパーボールすくい、魚釣り、射的等のゲームコーナー、革のキーホルダー作りの体験コーナーに、ステージ発表など、盛りだくさんの内容でした。子どもたちは運営のお手伝いをしたりゲームを楽しんだりしました。就学前の親子連れの方々がたくさん来てくださり、楽しい時間となりました。



## パラスポーツ体験会 ～旭区事業所連絡会主催～

8月5日(月) 14:00～15:30 会場：旭区民センター大ホール 参加者：こども 11名



旭区の児童発達支援事業所、放課後等デイサービスの事業所間の交流を目的に開催されました。ボッチャ体験、スリーアイズ、カローリングなどのパラスポーツや、自由に踊れるダンスコーナーなど、広いホールで存分に身体を動かして遊ぶことができました。

## こども ILP 「食」 ～おやつ作り～

8月6日(火) & 20日(火) 参加者：こども 14名 ボランティア1名

あつーい暑い夏なので、かき氷作りのILPをしました。1日目は、小グループに分かれて企画。どんなかき氷をつくるか、材料は？など、話し合いながら絵を描きました。2日目は実際にかき氷を作って食べました。トッピングは絵を見ながら？のはずが、「そんな豪華な材料は準備できない～」ために、代替品をトッピングしたり「思ったのと違うー」という声もあったりしましたが、完成した「作品」を美味しく食べて、みんな満足していました。



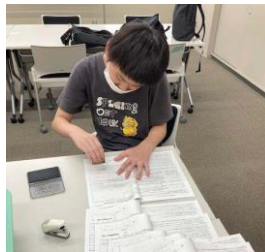
## こども ILP 「働」 ～しごと体験～

8月2日(金) 9日(金) 20日(火) 23日(金)

参加者：こども のべ11名 学生ボランティア 2名

体験場所：旭図書館、旭区役所、旭消防署

区内の公共施設で、小学校高学年、中学生、高校生がしごと体験をしました。コロナ以降、高齢者施設や飲食の場での体験が難しくなってきましたが、それは「ほうぷ商店」や「カフェほうぷ」等で担っています。図書館の事務所でのしごと体験の後、子どもたちに「図書館に初めて来た」と言われ、館長さんに図書館を案内していただきました。区役所での体験では、ホッチキスの使い方が難しいことに気づかされました。消防署では消防車の前で記念写真まで撮らせていただきました。短時間でしたが、少し職場を感じてもらえた時間となりました。ご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました。



今年、ほうぷの菜園では綿花を育てています。  
花が咲き、綿の収穫を子どもたちとしました。



## ● 法人内の活動報告 ●

- 5月 9日(木) 職員研修会「感覚統合遊具の活用方法」
- 5月17日(金) ほうぷよるカフェ
- 5月25・26日 新入職員研修 喀痰吸引3号研修受講
- 6月 3日(月) 相談支援事業大阪市運営指導
- 6月 9日(日) およこひろばほうぷ
- 6月11日(火) 感染症・自然災害対策委員会
- 6月14日(金) 法人総会
- 6月18日(火) 旭消防署立ち入り検査  
職員研修会「ケース検討(応用行動分析)」
- 6月19日(水) 虐待防止委員会
- 6月21日(金) ほうぷよるカフェ
- 7月 9日(火) 法人運営委員会
- 7月19日(金) ほうぷよるカフェ
- 7月22日(月) 職員研修 「エルム大阪機関支援」ケース検討
- 8月16日(金) ほうぷよるカフェ
- 8月19日(月) 法人臨時総会



## ● 地域活動報告 ●

- 5月 7日(火) 旭区地域自立支援協議会総会
- 5月14日(火) ブックスタート(ほうぷ)
- 5月16日(木) 旭区地域自立支援協議会 事業所連絡会(児童)
- 5月21日(火) 清水地域子育てネットワーク会議(清水小)
- 5月24日(金) 子ども情報研究センター理事会(オンライン)
- 5月27日(月) 清水地域活動協議会総会(清水小)
- 5月31日(金) 大阪市ボランティア活動振興助成金授与式(高津ガーデン)
- 6月 7日(金) 旭区子育て支援「あさひの輪」定例会(旭区社会福祉協議会)
- 6月10日(月) 就学進学なんでも相談会(高殿小)
- 6月13日(木) 就学進学なんでも相談会(太子橋小)
- 6月16日(日) こども情報研究センター総会
- 6月20日(木) 就学進学なんでも相談会(古市小)
- 6月24日(月) 旭区地域福祉計画会議 全体会(旭区民センター)
- 6月25日(火) 子ども食堂ネットワーク会議(旭区役所)
- 6月26日(水) 就学進学なんでも相談会(清水小)
- 6月27日(木) 旭区子育て支援キッズネット定例会(旭区民センター)
- 7月 1日(月) 旭区地域自立支援協議会 こども部会(旭区役所)
- 7月 3日(水) 就学進学なんでも相談会(大宮小)
- 7月 9日(火) ブックスタート(ほうぷ)
- 7月11日(木) 就学進学なんでも相談会(新森小路小)
- 7月16日(火) 清水地域活動協議会 地域福祉部会(ほうぷ)
- 7月17日(水) 旭区地域自立支援協議会 本会(旭区役所)
- 7月20日(土) 就学進学なんでも相談会(旭区役所)
- 8月 5日(月) 旭区地域自立支援協議会 事業所連絡会(児童)(旭区民センター)
- 8月17日(土) 旭区地域自立支援協議会こども部会主催 子育て応援セミナー(旭区役所)
- 8月27日(火) 旭区地域福祉計画会議 児童部会(旭区役所)